

# 山口大、院生が学生研究発表賞奨励賞 プロジェクト学会・秋季研究発表大会

受賞対象となった研究発表タイトルは「複合確率過程モデルによる、ネットワークの最適化」



(前列左から)今井啓之助教、白石備也准教授、福鯉景講師、江島圭祐助教から、火成活動等における地殻の進化過程の検討のため、野外活動を主とした岩石学的研究を行っている岩田大志助教の発表があった。続いて、同研究科の楊昊昊講師から、大規模オンライン行動データを用いた行動パターン抽出などに基づく大規模協力活動とチームワークに関する研究について紹介があった。各発表の後、谷澤学長をはじめ理事らから質問が相次ぎ、時間を超過するほどの活発な質疑応答が行われた。自由討論では、司会の松本勝典学術研究部長より、山口大学グリーン社会推進研究会に関連して、脱炭素技術やグリーン社会システムの創出に向けた研究事例を紹介してほしいとの話題提供があった。テニユアトラック教員からの研究紹介に対し、理事・副学長からは山口県内関連企業に向けた研究紹介の要望等があり、盛会のうちに終了した。

## 山口大、学長・理事と テニユアトラック教員との懇談会

山口大学は8月3日、吉田キャンパスで、学長・理事とテニユアトラック教員との懇談会を開催し、谷澤幸生学長および理事5名と、テニユアトラック教員9名が参加した。

冒頭、谷澤学長から若手教員への期待が表

## 「広島大学」 国際教育交流・異文化間能力育成研修

「グローバルインターシッピⅠ：日本社会における異文化間能力」「グローバルインターシッピⅡ：日本の地域社会と協働する異文化間実習」「日本社会とジェンダー」(恒松直美准教授担当)を受講している広島大学毎期交換留学プログラム(HUSA)留学生と総合科学部国際共創学科学学生(アメリカ・イギリス・フランス・ニュージーランド・スペイン・フィンランド・ドイツ・エジプト・コロンビア・韓国・中国・台湾・香港・タイ・日本出身)の45人が11月11日、広島県立日影館

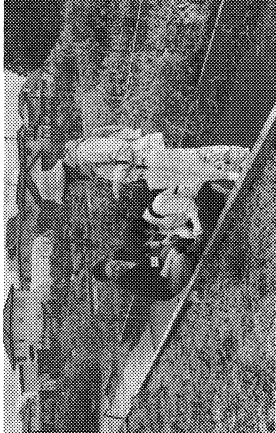
高等学校と共同で異文化間能力研修及び「吉舎おもてなしプラン」国際教育交流を行った。国際教育交流への参加は9回目。日影館高校生206人と同大学生45人の約250人が参加する大規模な国際教育交流となった。国際教育交流では、ドイツからの留学生によるスピーチによる自己紹介、グループワークやクイズを行い、英語と日本語による司会で留学生と地域住民をつなぎ、新しい異文化体験の場を作った。各教室では世界の留学生と高校生をつなぐアクティビティを留学生が考案して実践するとともに、高校生からは日本文化紹介があった。吉舎の街歩きでは高校生から町の歴史と文化を学んだ。

タを用いた行動パターン抽出などに基づく大規模協力活動とチームワークに関する研究について紹介があった。各発表の後、谷澤学長をはじめ理事らから質問が相次ぎ、時間を超過するほどの活発な質疑応答が行われた。自由討論では、司会の松本勝典学術研究部長より、山口大学グリーン社会推進研究会に関連して、脱炭素技術やグリーン社会システムの創出に向けた研究事例を紹介してほしいとの話題提供があった。テニユアトラック教員からの研究紹介に対し、理事・副学長からは山口県内関連企業に向けた研究紹介の要望等があり、盛会のうちに終了した。

## 徳島大 薬用植物園一般開放

徳島大学薬学部は11月6日から10日までの5日間、薬用植物園一般開放を開催した。コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となり、また初日と最終日は雨天であったにもかかわらず、県内外から約700名が来園した。

約10000㎡の園内では、薬用植物エビスグサ、シナモオウ、野生絶滅植物コブシモドキ、絶滅危惧植物ツメレンゲをはじめとした秋の装いの種々の植物を来園者が楽しんだ。



また、今年の一一般開放では、「葉草茶で健やかに」と題して、葉草茶に関する展示と、葉草茶の試飲(日替わり7種)を実施し、好評を得た。薬用植物園では、毎年様々なテーマで一般開放を開催している。